【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和2年5月7日(2020.5.7)

【公開番号】特開2018-169851(P2018-169851A)
【公開日】平成30年11月1日(2018.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-042
【出願番号】特願2017-67277(P2017-67277)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｋ　19/077　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　3/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｋ　19/077　３０４
Ｇ０９Ｆ　3/03　Ｄ
Ｇ０６Ｋ　19/077　２４４

【手続補正書】
【提出日】令和2年3月24日(2020.3.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
信号を発信可能なアンテナと識別情報を格納するメモリとを含む第１ユニットと、信号を発信可能なアンテナと識別情報を格納するメモリとを含む第２ユニットとを備える媒体であって、
前記媒体で前記第１ユニットと前記第２ユニットとが接続された状態において、外部からの電磁波を受けて、前記第１及び第２ユニットのいずれかのメモリに格納される識別情報を含む第１信号を該ユニットのアンテナより無線通信により発信する発信手段と、
前記第１及び第２ユニットのいずれかに設けられ、外部装置との接触式通信により、該ユニットのメモリに格納される識別情報を出力可能な通信手段と、を有し、
外的要因により前記媒体が前記第１ユニットを備える第１媒体と、前記第２ユニットを備える第２媒体に分離された場合に、分離後の前記第１媒体と前記第２媒体の少なくともいずれかにおいて、外部からの電磁波を受けて、その媒体が備えるユニットのメモリに格納される識別情報を含む、前記第１信号とは異なる第２信号が該ユニットのアンテナより無線通信により発信され、
前記通信手段は、前記媒体の分離後に、外部装置との接触式通信を受けた場合には、該通信手段を備えるユニットのメモリに格納される識別情報を前記接触式通信により前記外部装置に出力することを特徴とする媒体。
【請求項２】
前記第１ユニットのメモリに格納される識別情報と、前記第１ユニットのメモリに格納される識別情報は、同一の識別情報であることを特徴とする請求項１に記載の媒体。
【請求項３】
前記第１ユニットのメモリに格納される識別情報と、前記第２ユニットのメモリに格納される識別情報とは、それぞれ異なる固有ＩＤであり、
前記第１ユニットのメモリに格納される第１固有ＩＤと、前記第２ユニットのメモリに格納される第２固有ＩＤとを関連付ける情報が、少なくとも前記第１及び第２ユニットのいずれかのメモリに格納されている、又は、外部のシステムで管理されていることを特徴

とする請求項１に記載の媒体。
【請求項４】
前記第１信号は、前記第１及び第２ユニットのいずれかのメモリに格納される識別情報及び第１信号情報を含み、
前記第２信号は、前記第１及び第２ユニットのいずれかのメモリに格納される識別情報及び前記第１信号情報とは異なる第２信号情報を含むことを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の媒体。
【請求項５】
前記通信手段は、前記媒体の分離前に、外部装置から接触式通信を受けた場合には、前記外部装置に対して出力を行わないことを特徴とする請求項１に記載の媒体。
【請求項６】
前記通信手段は、前記媒体の分離前に、外部装置から接触式通信を受けた場合には、該通信手段を備えるユニットのメモリに格納される識別情報を前記外部装置に出力することを特徴とする請求項１に記載の媒体。
【請求項７】
前記通信手段により出力された識別情報は、前記外部装置から、前記識別情報と関連付けて物品を管理するシステムに送信されることを特徴とする請求項１に記載の媒体。
【請求項８】
前記媒体は、シート状の媒体であることを特徴とする請求項１～７のいずれか１項に記載の媒体。
【請求項９】
前記媒体は、接着面を有することを特徴とする請求項８に記載の媒体。
【請求項１０】
前記媒体は、パッケージの開封時に、前記第１媒体と前記第２媒体に分離されるように、該パッケージの開封部の一部として構成されることを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載の媒体。
【請求項１１】
前記媒体は、前記パッケージの開封部に印刷された電子回路で構成されることを特徴とする請求項１０に記載の媒体。
【請求項１２】
前記媒体は、物品本体に所定の部材を装着した状態で保管され且つ使用時には前記物品本体から前記所定の部材を取り外す必要がある物品の一部として構成され、
当該物品本体から前記所定の部材を取り外す時に、前記第１媒体と前記第２媒体に分離されるように、前記媒体は、前記物品本体と前記所定の部材に跨って配置されることを特徴とする請求項１に記載の媒体。
【請求項１３】
前記媒体を前記第１媒体と前記第２媒体に分離するための破断線を有することを特徴とする請求項１～１２のいずれか１項に記載の媒体。
【請求項１４】
前記第１ユニット及び前記第２ユニットは、ＲＦＩＤ（Radio Frequency Identifier）ユニットであることを特徴とする請求項１～１３のいずれか１項に記載の媒体。
【請求項１５】
前記発信手段により発信された信号は、無線通信により外部の装置により読み取られ、前記識別情報と関連付けて物品を管理するシステムに送信されることを特徴とする請求項１～１４のいずれか１項に記載の媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００９】

本発明は、信号を発信可能なアンテナと識別情報を格納するメモリとを含む第１ユニットと、信号を発信可能なアンテナと識別情報を格納するメモリとを含む第２ユニットとを備える媒体であって、前記媒体で前記第１ユニットと前記第２ユニットとが接続された状態において、外部からの電磁波を受けて、前記第１及び第２ユニットのいずれかのメモリに格納される識別情報を含む第１信号を該ユニットのアンテナより無線通信により発信する発信手段と、前記第１及び第２ユニットのいずれかに設けられ、外部装置との接触式通信により、該ユニットのメモリに格納される識別情報を出力可能な通信手段と、を有し、外的要因により前記媒体が前記第１ユニットを備える第１媒体と、前記第２ユニットを備える第２媒体に分離された場合に、分離後の前記第１媒体と前記第２媒体の少なくともいずれかにおいて、外部からの電磁波を受けて、その媒体が備えるユニットのメモリに格納される識別情報を含む、前記第１信号とは異なる第２信号が該ユニットのアンテナより無線通信により発信され、前記通信手段は、前記媒体の分離後に、外部装置との接触式通信を受けた場合には、該通信手段を備えるユニットのメモリに格納される識別情報を前記接触式通信により前記外部装置に出力することを特徴とする。